

2013年5月期 決算説明資料

[2013年7月12日 投資家向け会社説明会 資料]

企業理念

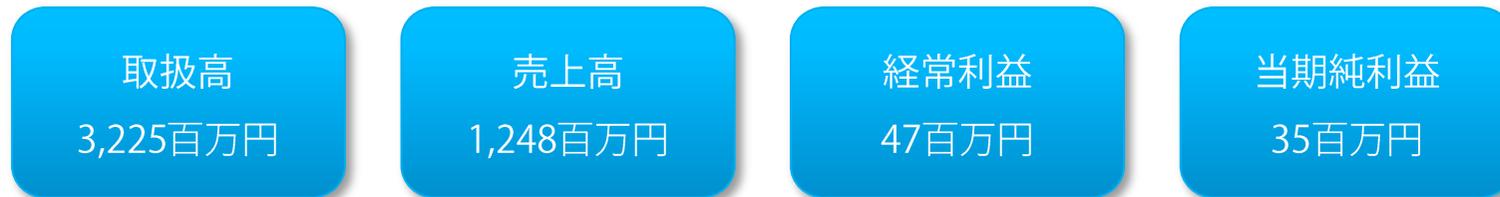
- 公明正大かつ信用あるオークション市場の創造と拡大
- 常に信用を重んじる中での慎重かつ大胆な挑戦
- 豊かで美しく潤いある生活文化の追求

目次

2013年5月期 概況	3	2014年5月期 国内オークション事業戦略	16
2013年5月期 決算概要	4	2014年5月期 国際事業戦略	17
2013年5月期 B/S	5	中期経営計画骨子	18
取扱高・粗利益の推移	6	戦略子会社 エーペック株式会社	19
2013年5月期 販売費及び一般管理費	7	戦略子会社 シンワメディカル株式会社	20
近代美術オークション 平均落札価額の推移	8	その他 中期経営計画 進捗状況	21
近代美術オークション インデックス	9	新規事業 工程表	22
国内美術オークション市場の規模の推移	10	戦略子会社 資金調達計画	23
取扱アイテム及び高額落札作品 シェア比較	11	2014年5月期 4期連続黒字へ	24
財務方針	12	2014年5月期 業績予想	25
これまでの事業推移	13	2014年5月期 グループ業績予想（概算）	26
オークション事業Ⅰ	14	将来見通しに関して	27
オークション事業Ⅱ	15	会社概要	28

2013年5月期 概況

■ 実績



* 当社の売上高は、おもにオークション手数料収入及び商品売上高で構成されております

■ 今期の業績全般について

厳しい作品募集環境にあつて、積極的な在庫商品の確保に努めましたが、年度前半は特に高額作品の出品点数が伸び悩みました。景気回復への期待感は、今年に入りオークション結果にも徐々にあらわれ始めておりますが、長期にわたる国内景気の先行き不透明感を未だ完全には払拭できない状況にあつて、当事業年度中には作品の募集環境に大きな改善は見られませんでした。（取扱高 対前年比 8.7%減、売上高 対前年比 8.2%減、経常利益 対前年比 17.9%減）

■ 市場全般について

日本国内のオークション市場は、一昨年秋からの欧州の債務危機や財政不安、また長期にわたるデフレや円高の影響を受け、取引全体のボリュームとしては震災前の市場環境までも回復していない状況ではあります。作品の価格については、昨年末の政権交代以降、上昇の兆しを見せ始めております。

2013年5月期 決算概要

(単位：百万円)

	2012年5月期 実績	2013年5月期 計画	2013年5月期 実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				(額)	(%)	(額)	(%)
取扱高	3,534	4,173	3,225	△308	△8.7%	△947	△22.7%
売上高	1,359	1,223	1,248	△110	△8.2%	25	2.1%
売上総利益	670	690	597	△73	△10.9%	△93	△13.5%
販売費及び一般管理費	625	605	560	△65	△10.4%	△44	△7.4%
営業利益	45	85	36	△8	△18.4%	△48	△56.8%
経常利益	57	84	47	△10	△17.9%	△37	△44.3%
当期純利益	76	83	35	△41	△54.1%	△47	△57.6%

2013年5月期 B/S

(単位：百万円)

[資産の部]	FY2012.5	FY2013.5
流動資産	1,651	1,627
- 現預金	977	1,006
- オークション 未収入金・売掛金	80	236
- 商品	240	222
- 前渡金	272	71
- 繰延税金資産	60	53
- その他	19	36
固定資産	52	97
- 有形固定資産	11	16
- 投資その他	40	81
資産合計	1,704	1,725

(単位：百万円)

[負債の部]	FY2012.5	FY2013.5
流動負債	279	395
- オークション未払金	160	293
- 短期借入金	-	-
- その他	119	101
固定負債	29	41
負債合計	309	436
- 資本金	785	792
- 剰余金	692	711
- 自己株式	△87	△222
純資産合計	1,395	1,288
負債・純資産計	1,704	1,725

退職給付引当金：
全額定期預金で保全

自己株式：8,598株取得

自己資本比率：74.3%

取扱高・粗利益の推移

(単位：百万円)

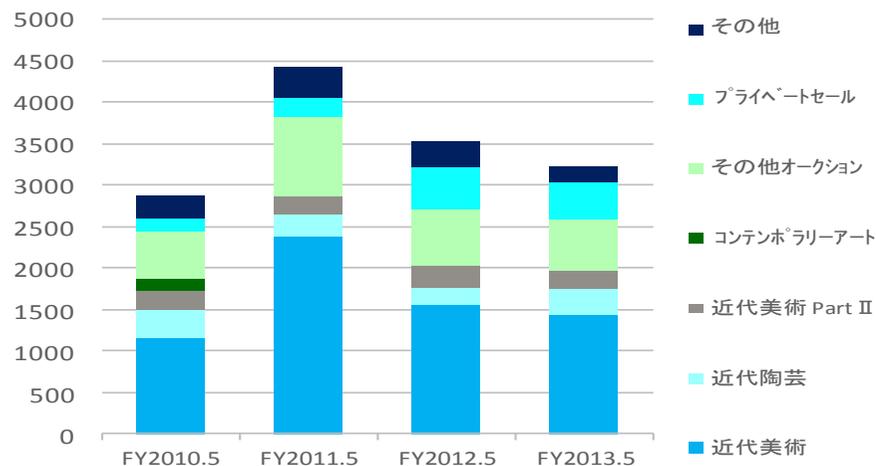
		FY2010.5	FY2011.5	FY2012.5	FY2013.5
オークション事業	近代美術	1,159	2,392	1,571	1,445
	近代陶芸	342	253	208	304
	近代美術 Part II	228	234	246	229
	コンテンポラリーアート	152	-	-	-
	その他オークション	567	955	693	603
その他	プライベートセール	153	216	496	446
	その他	267	367	317	196
取扱高合計		2,871	4,419	3,534	3,225

(単位：百万円)

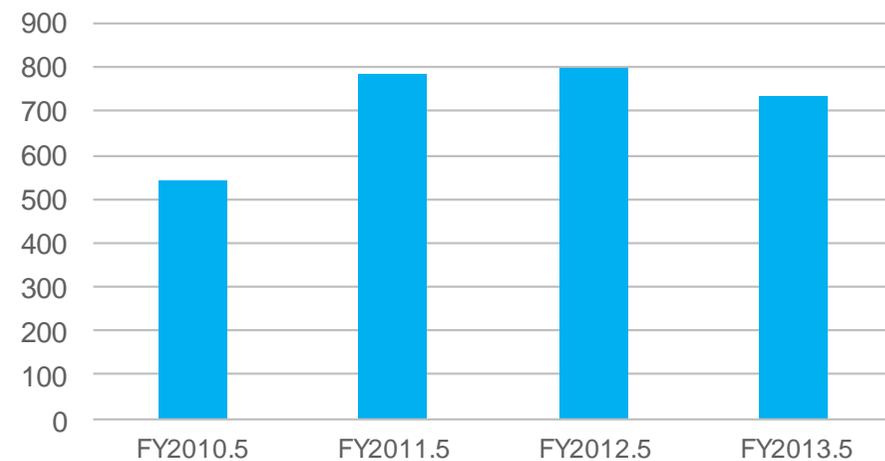
	FY2010.5	FY2011.5	FY2012.5	FY2013.5
手数料収入①	519	696	523	481
カタログ収入②	64	51	50	52
小計③=①+②	583	748	574	534
④商品売上高	154	463	784	714
⑤商品売上原価	△198	△378	△558	△515
粗利益③+④+⑤	539	834	800	733

* カタログ収入には会費、貸会場収入も含まれます

取扱高



粗利益



2013年5月期 販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	2012年5月期 実績	2013年5月期 計画	2013年5月期 実績	増減（対前年）	
				(額)	(%)
人件費	275	282	260	△15	△5.5
支払販売手数料及び支払手数料	127	84	83	△44	△34.9
広告宣伝費	3	7	7	3	91.0
不動産関係費	86	88	79	△7	△8.4
その他	132	142	130	△1	△1.2
合計	625	605	560	△64	△10.4

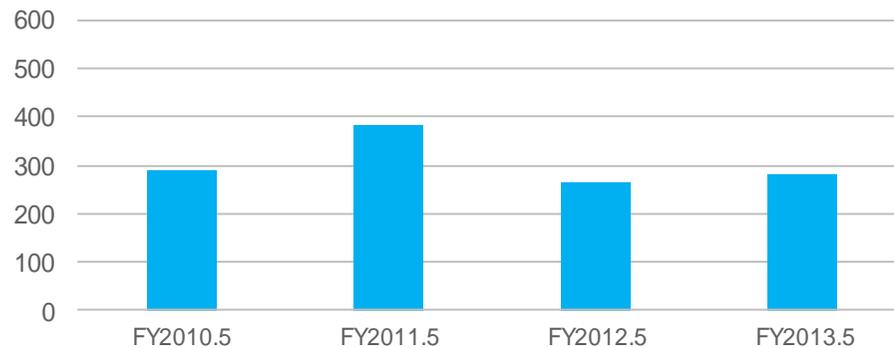
近代美術オークション 平均落札価格の推移

(単位：百万円)

	FY2010.5	FY2011.5	FY2012.5	FY2013.5
回数	6回	5回	6回	6回
出品数	475点	701点	678点	576点
落札数	404点	621点	579点	516点
落札率 (%)	85.0	88.5	85.4	89.5
落札総額 (百万円)	1,138	2,383	1,538	1,437
平均落札価格 (万円)	281	383	265	278

* アフターセールは含んでおりません

■ 平均落札価格の推移



2013年5月期 主な落札実績

■ 横山大観

「神嶺不二山」

落札予想価格：2,000万円～3,000万円

落札価格：5,200万円

2012年11月17日 近代美術オークション

■ レオナール・フジタ

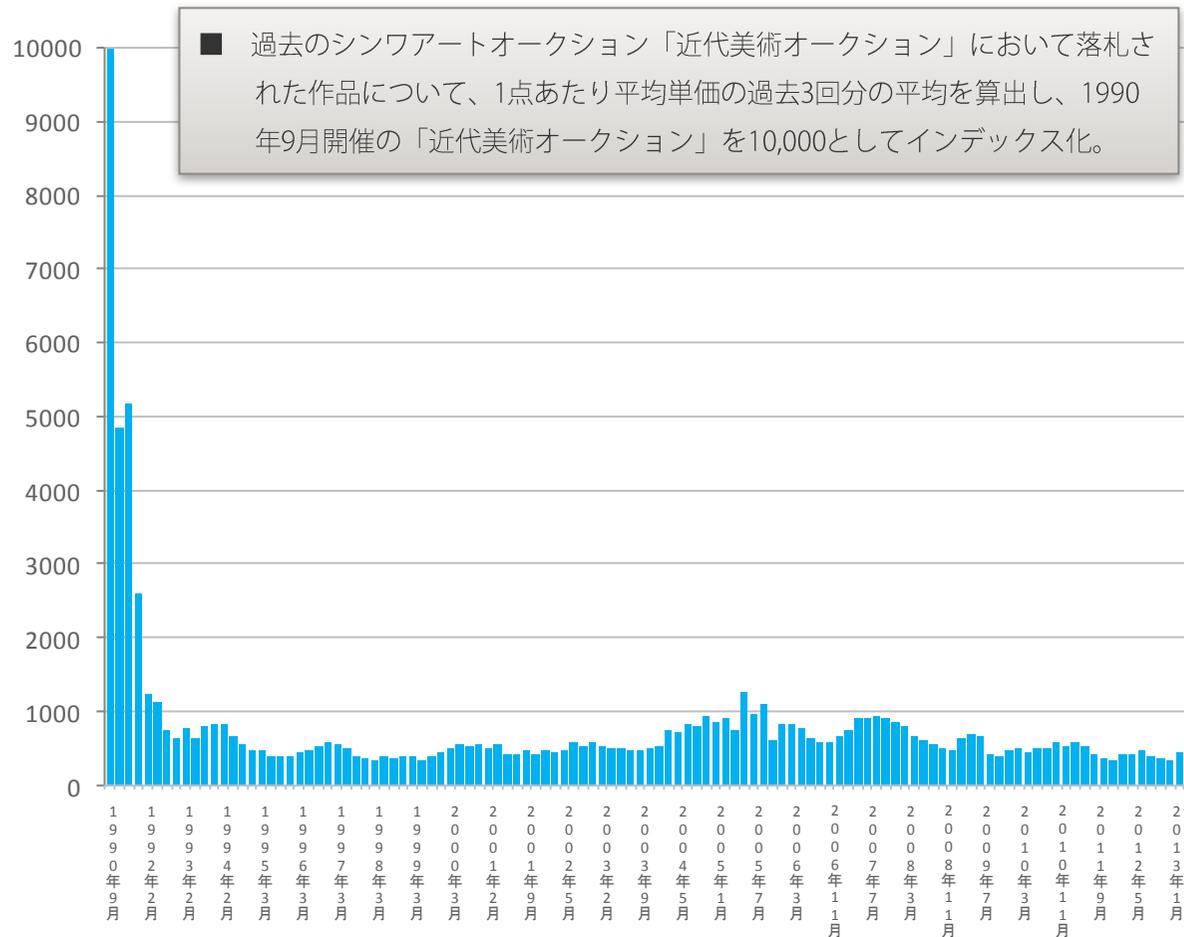
「バラを持つ美女達」

落札予想価格：5,000万円～8,000万円

落札価格：9,200万円

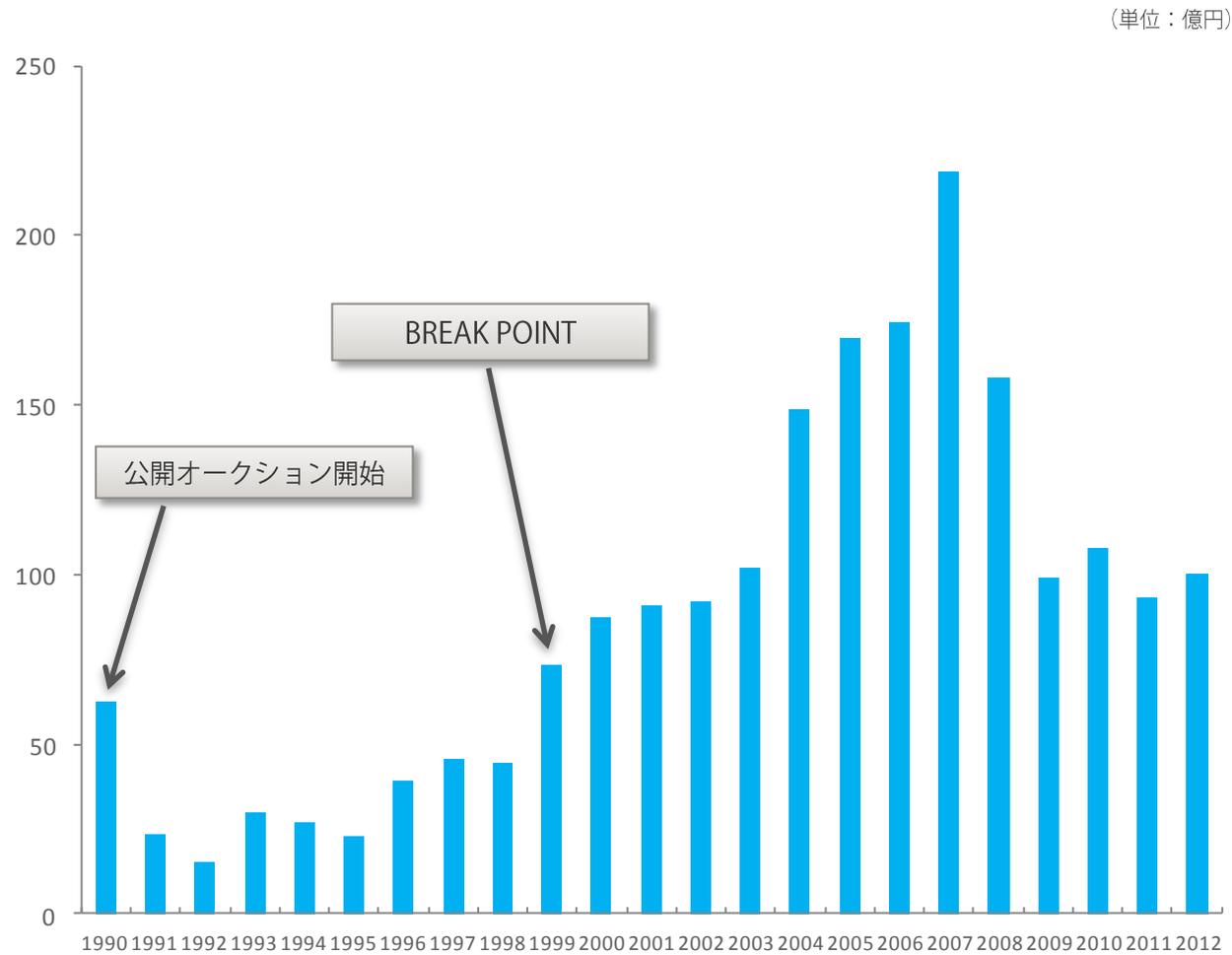
2013年3月23日 近代美術オークション

近代美術オークション インデックス



オークション開催年月	インデックス
1990年 9月	10,000
1992年 2月	1,216
1993年 2月	764
1994年 2月	818
1995年 3月	459
1996年 3月	429
1997年 3月	549
1998年 3月	338
1999年 6月	325
2000年 3月	489
2001年 7月	403
2002年 3月	445
2003年 2月	527
2004年 3月	741
2005年11月	610
2006年 9月	571
2007年11月	891
2008年 9月	560
2009年 3月	631
2010年 3月	482
2011年11月	357
2012年 2月	最小 318
2012年 7月	452
2012年11月	369
2013年 1月	337
2013年 5月	433

国内美術オークション市場の規模の推移



暦年	落札推移 (百万円)	前年比
1990年	6,256	-
1991年	2,300	-63.2%
1992年	1,479	-35.7%
1993年	2,945	99.1%
1994年	2,701	-8.3%
1995年	2,258	-16.4%
1996年	3,903	72.8%
1997年	4,549	16.5%
1998年	4,408	-3.1%
1999年	7,357	66.9%
2000年	8,765	19.1%
2001年	9,075	3.5%
2002年	9,211	1.5%
2003年	10,223	11.0%
2004年	14,857	45.3%
2005年	16,950	14.1%
2006年	17,426	2.8%
2007年	21,835	25.3%
2008年	15,774	-27.8%
2009年	9,903	-37.2%
2010年	10,777	8.8%
2011年	9,331	-13.4%
2012年	10,064	7.86%

* 「月刊美術」2013年3月号より

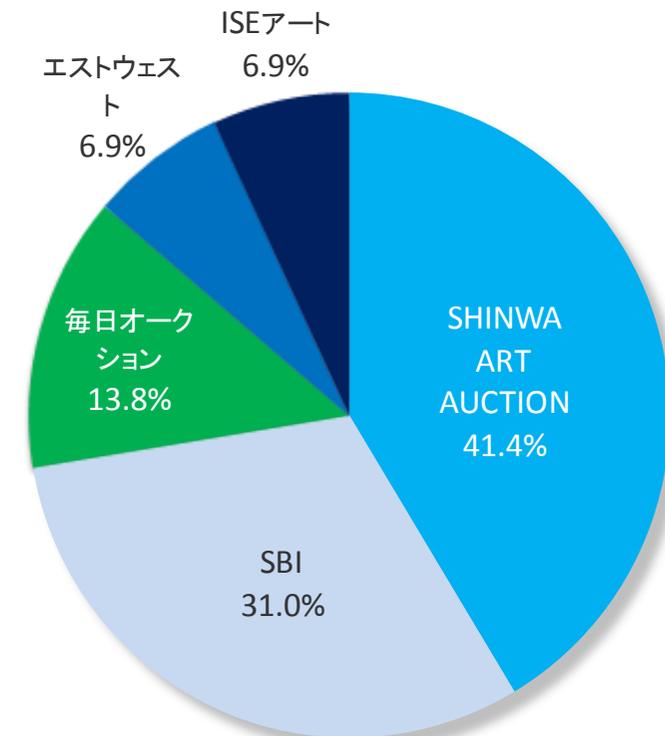
取扱アイテム及び高額落札作品 シェア比較

オークション名	年間回数	内容
近代美術	6回	近代日本画・日本洋画・彫刻・外国絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね30万円以上の作品（平均落札価格：約278万円）
近代陶芸	4回	近代陶芸・茶道具・漆芸・金工・古美術など、落札予想価格の下限金額が概ね10万円以上の作品（平均落札価格：約27万円）
近代美術 Part II	6回	版画・日本画・洋画・陶芸など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品（平均落札価格：約14万円）
Bags / Jewellery & Watches	5回	ブランド雑貨・時計宝飾品など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品（平均落札価格：約19万円）
西洋美術	不定期	西洋ガラス工芸・西洋磁器・西洋家具・西洋絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね5万円以上の作品（平均落札価格：約24万円）
ワイン	不定期	高級ワイン
特別オークション	不定期	浮世絵・チャリティーオークションなど

* 取扱アイテムの平均落札価格は2013年5月期期末時点

■ 高額落札作品市場シェア(2000万円以上)

高額落札作品市場シェア 40%以上

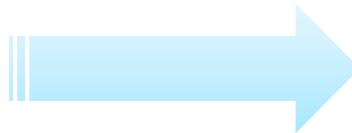


* 暦年（2012）「月刊美術」2013年3月号より

財務方針

従来の財務方針

- 経常黒字継続
- 配当性向30%以上継続目標
- 短期借入金の適正運用
- いかなる金融商品も保有せず
- 適正な在庫リスクコントロール
- ☆ 原則的には短期売却による短期損益確定
- ☆ 戦略在庫は適正仕入れによるリスクコントロール
 - ※ アジア戦略強化による戦略的措置
- ☆ 内規に沿った適正な評価による引当金計上



新たに加わる財務方針

- 実態ある時価総額経営へ移行
- 市場からの資金調達を積極化
- 純資産の拡大、大規模なプラットフォームを形成
- 有能な人材確保のため積極的な新株予約権発行

これまでの事業推移

第25期

2013年6月～2014年5月

～アベノミクスは追い風、デフレ脱却へ～

■ 第25期 収益拡大、成長軌道初年度
中期経営計画始動・新規事業収益化

オークションプラットフォーム拡大開始
積極的な資金調達

第24期

2012年6月～2013年5月

～続く厳しい事業環境、中国経済鈍化、ユーロ金融危機～

■ 第24期 黒字維持努力、新たなる成長模索
新中期経営計画策定・発表

オークション事業で黒字維持・ディーリング強化
新規安定事業の模索、新たなる成長戦略を模索

第23期

2011年6月～2012年5月

～東日本大震災 / 暗雲広がる事業環境～

■ 第23期 黒字体質の確立・配当継続
経営資源を国内へ集中、国内新規事業展開

出品確保に注力、確実な収益の確保
短期の換金需要に対応しディーリング強化

第22期

2010年6月～2011年5月

3期ぶりの黒字・復配

■ 第22期 黒字へ向けた施策
経営資源を国内へ集中 ⇒ 近代美術への注力

会員制度・特約店拡大施策
新アイテムとしてブランド雑貨オークションを戦略的に開催

第21期

2009年6月～2010年5月

アジア・欧米の美術市場は
緩やかな回復を始める中、
日本は兆し見えず・・・

■ 第21期 アジア・欧米の美術市場底打ち
更なる機構・構造改革を断行

すべての経費アイテムの更なる見直し・削減 / 固定賞与減額を続行
非収益的部門となっているアジアマーケティング部門をジョイントベンチャーへ移行

第20期

2009年6月～2010年5月

急速に収縮した日本の美術市場
金融危機・リーマンショック

■ 第20期 リストラに始まる
会社規模の適正化・緊急リストラ策断行

徹底的な経費削減・・・役員報酬減額、役員賞与停止
希望退職者募集・本社機能移転・固定賞与の減額

オークション事業Ⅰ - 日本近代美術再生の担い手として

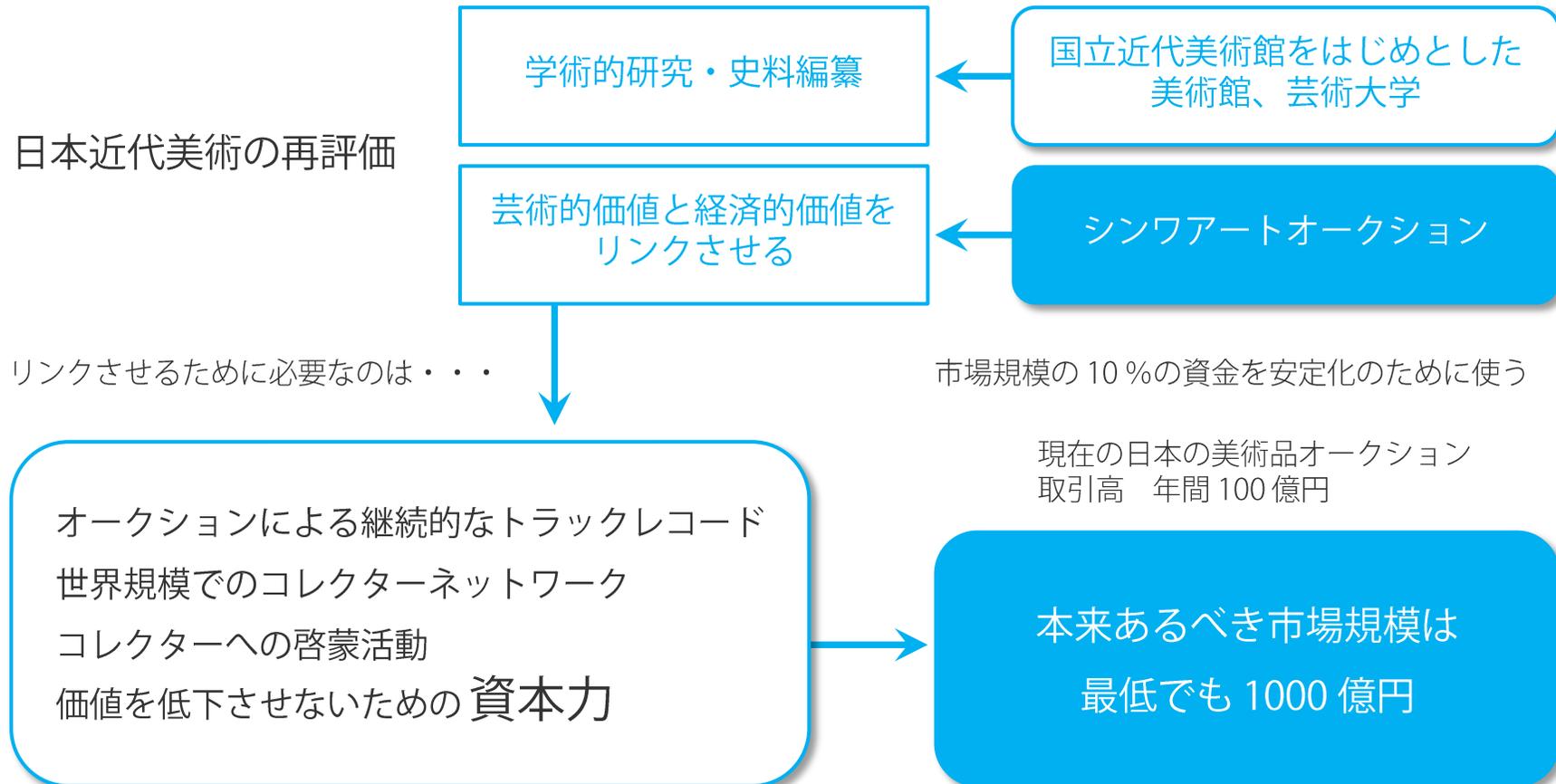
日本近代美術再生プロジェクト

- 資本力・経験・ネットワークで日本近代美術を再生
- 日本に安定的な美術市場のプラットフォームを創る

オークション事業の収益力を強化

- 日本近代美術の盟主として、日本近代美術の価値付け、向上、維持に責任を持つ
- 年間市場規模 最低1000億円を達成するための注力
- プライベートセールなどを含め収益を上げながら、日本近代美術市場を下支えする
- 芸術的価値及び経済的価値の向上に寄与する啓蒙活動を継続する

オークション事業II - 再評価と価値の安定化のために



2014年5月期 国内オークション事業戦略

新たなる成長に向けて、基幹事業で確実な収益確保

落札営業

- ハイクオリティ作品の販売
- 富裕層営業を強化
→新たな参加者の誘引

出品営業

- 業者営業強化（特約店拡大）
→アートディーラー囲い込み継続
- 法人出品営業強化
→企業の換金需要を取り込む
一括保証制度・前渡金制度促進

国内オークション事業

オークション派生事業

- 貴金属買取・宝飾品小売事業展開
→オークション事業で培ってきた
富裕層ネットワークを活かす

ディーリング強化

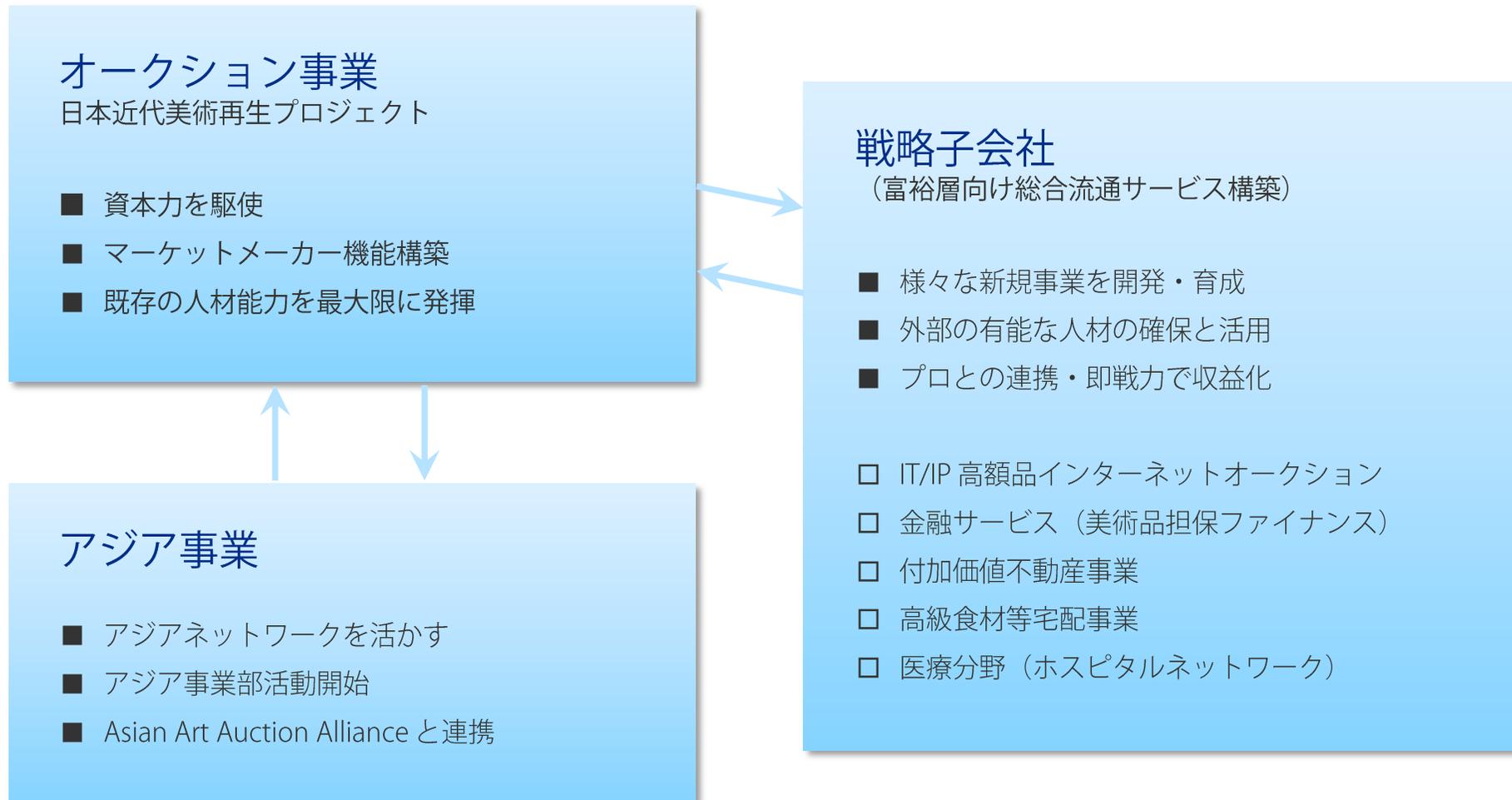
- 短期の換金需要に応える
→積極的に短期銀行借入れを活用
リスクを限定して買取促進、短期売却

2014年5月期 国際事業戦略 ～ アジア地域における投資戦略

Asian Art Auction Alliance Co.,Ltd.の 21.1% を所有



シンワアートオークション 中期経営計画骨子



戦略子会社 - エーペック株式会社

太陽光発電システム分譲予約販売開始 ～ グリーン投資減税を活用～

今期分譲予定戸数
25基

標準的スペック (1基当たり)
容量 約50kw
(50kw未満)

固定売電
収入受益期間
20年

機材
国産もしくは
質の高い外国製

総敷地面積
約200坪
(所有権もしくは借地権)

平均年間売電収入
約180万円

分譲販売価格
約3000万円
(国産機材使用の場合)



分譲販売予定地

北九州太陽光発電所	(福岡県北九州市)
栃木県太陽光発電所	(栃木県下都賀郡)
春日井太陽光発電所	(愛知県春日井市)
市原太陽光発電所	(千葉県市原市) 等

20年間の固定買取制度

電力会社と発電した電力をやり取りする一般的なシステムを利用しますが、平成24年度固定価格買取制度がスタートし、10kw以上の太陽光発電システムについては、発電した電力を全て、電力会社に、20年間、固定価格にて売却することができるようになりました。

グリーン投資減税 (公的支援制度)

中小企業に限り、設備取得価格の7%相当額の税額控除

法人または青色申告をしている個人を対象に、普通償却に加えて取得額の30%相当額を限度として償却できる特別償却

法人または青色申告をしている個人を対象に、取得価格の全額を償却 (100%償却、即時償却) できる特別償却

固定資産税の軽減措置

対象設備についてあらたに固定資産税を課されることとなった年度から3年分の固定資産税に限り、課税標準を、課税標準となるべき価格の2/3に軽減する。

【適用期間】平成26年3月31日まで

銀行融資・リースの活用

20年間の安定した電力収入を背景に、国産機材を利用した設備に関して、銀行融資やリースを活用することが可能となり、初期投資金額が少なくなることにより利回りが飛躍的に向上することが可能になります。

戦略子会社 - シンワメディカル株式会社

医療機関・介護施設向け診療報酬債権ファクタリング開始：

※ 6月14日 初の診療報酬債権ファクタリング契約締結

シンワメディカル事業計画	2014年5月期	2015年5月期	2016年5月期
ファクタリング 残高目標	20 億円	50 億円	100 億円
ファクタリング 収入	7500 万円	3 億 5000 万円	7 億 5000 万円
医療機関向け緊急支援残高	1 億円	2 億円	3 億円

その他事業： 医療機関・介護施設の買収/経営、再生医療関連事業への投資

新規事業 工程表（中期経営計画より）

	第25期 2013年6月～	第26期 2014年6月～	第27期 2015年6月～	第28期 2016年6月～	第29期 2017年6月～
戦略子会社資金調達	資金ニーズに応じて適宜資金調達を積極的に行う				
IT/IP 高額品 インターネットオークション	インターネットオークションシステム開発 インターネットオークション開始 収益化へ				
金融サービス (美術品担保ファイナンス)	金融会社買収 動産融資ビジネス開始 収益化へ 融資残高拡大				
付加価値不動産事業 ・ 売電 ・ 売電不動産	ソーラー発電施設の分譲販売、25期から積極拡大 売電を収益化 積極拡大 REIT開発				
高級食材等宅配事業	初年度黒字化 ネットシステム構築 アイテム多角化 既存顧客開拓 新規顧客開拓				
医療分野（ホスピタルネットワーク） ・ 病院支援事業 ・ 病院経営	初年度黒字を目指す 残高を積極的に拡大 第29期には200億を目指す 病院経営支援 医療機器導入コンサル 病院買収 幹細胞治療研究を支援 幹細胞治療開始				

戦略子会社 資金調達計画（中期経営計画より）

	第24期 当期間	第25期 2013年6月～	第26期 2014年6月～	第27期 2015年6月～	第28期 2016年6月～	第29期 2017年6月～	
シンワアートオークション		第25期 資金調達（1.9億円）日本近代美術再生スタート 第25期 戦略子会社買収のための資金調達（*億円）		第27期 資金調達（*0億円）日本近代美術マーケットメイク		第29期 資金調達（*0億円） 安定したプラットフォーム完成 純資産最低150億円達成	
戦略子会社		(戦略子会社の資金需要も旺盛であるため、会社価値を高め出来る限り多くの資金調達を目指す)					
		第25期 シンワアートオークション・その他から資金調達（2.5億円） 医療機関向け支援事業へ資金投入		第25期 資金調達（2億円）不動産事業		第27期 資金調達（*0億円）ファイナンスカンパニー買収	
						第29期 資金調達（*0億円） 医療、不動産分野への投資拡大	
		病院向けファクタリング事業の拡大が実現する場合、間接金融だけではなく自己資金でも対応できるよう適宜、資金調達を拡大					

2014年5月期 4期連続黒字へ

2011年5月期 黒字浮上・復配



東日本大震災を乗り越えられるか!?

2013年5月期は3期連続黒字確保・配当継続
震災以降、デフレ進行でオークション出品低迷

ユーロ金融危機、中国鈍化、国内デフレ等、外部環境の悪化を乗り越える!



2014年5月期 デフレ脱却でオークション収益拡大



エーペック、シンワメディカル
初年度から黒字化

新たな成長へ!

2014年5月期 業績予想

(単位：百万円)

	FY2013.5 実績	FY2014.5 計画	前年比 (%)
取扱高	3,225	4,092	26.9
売上高	1,248	1,309	4.9
売上総利益	597	715	19.8
営業利益	36	112	206.0
経常利益	47	104	120.7
当期純利益	35	101	186.8
1株当たり当期純利益 (単位：円)	688	1,994	

(単位：百万円)

取扱高内訳	FY2013.5 実績	FY2014.5 計画	前年比 (%)
近代美術	1,445	2,600	80.0
近代陶芸	304	260	△14.7
近代美術 Part II	229	300	30.8
Bags / Jewellery & Watches	237	232	△2.2
西洋美術	167	140	△16.5
特別	197	160	△49.5
その他事業	643	400	△37.8
	3,225	4,092	26.9

2014年5月期 グループ業績予想（概算）

	売上高	経常利益	当期利益
シンワアートオークション（株）	13億940万円	1億403万円	1億117万円
エーペック（株）	7億5000万円	5000万円	2500万円
シンワメディカル（株）	6億8500万円	2375万円	1200万円

※ 将来見通しに関して

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

会社概要

シンワアートオークションは、日本に高額品の換金市場を確立するため、公明正大なオークション市場の創造と拡大を目指しています。

- 年間約30回の公開オークションを開催
 - 2012年の美術品オークション市場シェア… 20.7%
 - 2012年の高額落札(2000万以上) 市場シェア… 41.4%
- (「月刊美術」より)



商号	シンワアートオークション株式会社		
設立	1989年6月15日		
資本金	792百万円		
本社	東京都江東区有明3丁目7番26号 TEL 03-3520-0066		
役員	代表取締役社長	倉田陽一郎	監査役 羽佐田信治
	代表取締役専務取締役	中川健治	足達堅
	取締役	泉山隆	佐野洋二
		石井一輝	
		木下邦彦	